

# サ・ク・ラ・サ・ク!4th



(最高学年、苦楽を糧に、さあ、クライマックス!)

上野高校進路指導部通信 (3年生 家庭配布版) vol.2 2013/6/6

## 一生懸命やるから課題が見えてくる!

運動部の多くは最後の試合が終了、体育祭も無事終了しました。完全燃焼できたでしょうか? またひとつ、またひとつと行事が終わっていきます。そして最大の行事=入試が近づいてきます。これからは第一志望合格に向けて勉強で完全燃焼を目指しましょう!

さて、6月15日はベネッセのマーク模試ですが、その前に全統マーク模試の結果が帰ってきました。偏差値や判定ばかりが気になったのではないですか?

勉強というものは「間違って覚える」ものです。ただし、何もしないで間違っただことは何の財産にもなりません。いろいろ勉強した中で、覚えているつもりがあやふやなところ、手が回っていない部分が見えてきます。「間違った」という悔しい気持ちが記憶を定着させます。「これこの前やったけど、何だっけ」が「これこの前やったからこれ正解」と答えられるようになったとき、皆さんは自分の「伸び」を実感します。E判定は何度見てもE判定です。しっかり復習し、得意・不得意を把握して次の勉強に役立てましょう。

「まだ勉強し始めたばかり」という甘えは厳禁です(他校生も引退したばかりです)。模擬試験は本番の入試より難しめの内容ですが、部活の練習試合も自分たちより強い相手としているはずです。最初から負けるつもりで臨んでいますか?強い相手に対して全力を尽くさなければ自分の課題は見えてきません。部活で培った力を勉強で発揮して下さい!

- 「一度見た問題は通用しない」、成績UPする有効な模擬試験活用法
- テスト前に単語集、一問一答、参考書で既習範囲の復習。過去問は仕上げの演習に。
- 本番は時間いっぱい使って解答と見直し。問題に解答を記録しておきます。
- 解答解説をもらったら、間違ったところをチェックして分類する。例えば英語なら①スペルミス→「ケアレス系」、②知っている構文が使えなかった→「あやふや系」、③全く知らない単語→「未知系」に分類する。
- 間違いノートに「どこの段階で間違ったのか」と「間違えた理由」を問題とともに記録します。正解を「写した」だけでは理解したことにはなりません。
- 教科書や参考書をみながら、類題(似た例文)や関連する情報(似た単語)を追加します。
- 答案が返ってきたら再度見直し。自分は解けたと思っていても減点されているところは、どこで減点されたか考えて、間違いノートに書き込みましょう。
- 結果から自分の弱みを知って、必要な点を集中的にトレーニングしましょう。
- 「今回の目標は7割」「プラス10点」と具体的なイメージを持って勉強をプランしましょう。



部活も学習も準備→実践練習→現状把握の繰り返しでスキルアップ